

これだけいただきました！

# ふるさとときらめき湖南づくり寄付

～湖南省ふるさと納税～

ふるさと納税は湖南省出身者に限らず、湖南省を応援したいと思う湖南省外に住む人なら誰でも寄付できます。平成30年度のふるさと納税による寄付金は、三雲駅周辺整備、石部駅周辺整備、障がい福祉サービス事業などの一部に使わせてもらいます。

今後も遠方で暮らす家族、親戚、友人がおられましたら、「ふるさとときらめき湖南づくり寄付」についてお声掛けください。

## ● 平成30年度 ●

件数 **6,896件**  
金額 **160,524,020円**

## 申込はこちらから

湖南省ふるさと  
納税HP



## 寄付金の使いみち

- 天然記念物ウツクシマツの保全に係る事業 6,123,000円
- 図書館の機能充実に係る事業 5,547,000円
- 観光の振興に関する事業 8,354,000円
- 歴史文化遺産の周辺環境整備に関する事業 7,516,000円
- スポーツ施設利用環境の充実に係る事業 4,779,000円
- 地域福祉施策の充実に係る事業 15,311,000円
- 地域活性化に関する事業 26,284,000円
- 自治体にお任せ 86,610,020円

## 返礼品例

近江牛、離乳食、お漬物、下田焼、地酒など



## 問 地域創生推進課〔東庁舎〕

☎71・2316 FAX72・2000

高齢者の中には、記憶力や認識能力などの低下から、被害に



電気料金が安くなると電話で勧誘され、プラン変更した。しかし料金を知るにはネットでの登録手続が必要と分かった。ネットは使えないので、紙の請求書をもろうと有料になる。

テレビショッピングを見てお試して化粧品を購入したら、1か月後に再度商品が届いた。確認すると知らない間に定期購入になっていた。

久しぶりに実家に行くと玄関先に段ボールがあった。高齢の母に聞くと、申し込んだ覚えがないのに健康食品が届いて困っているという。

## 消費者 悩みの相談室

### 高齢者の消費生活トラブル 家族や見守り関係者の協力が重要です

あったという意識がない人や、被害にあったことを他人に相談するのが恥ずかしいと思う人がいることから、消費者被害は表に現れにくく、発覚したときには被害額が多額になっている傾向があります。事例においても、自分から申し込んだ事実が確認されたり、テレビ画面に定期購入である旨が表示してあるなど、必ずしも事業者に責任が問えるものばかりではありません。家族や本人に関わる人たちが、家の中で見慣れない商品・契約書などを発見したり、日常会話の中で不審な様子に気付いたら、消費生活センターに連絡してみましよう。消費生活センターが事業者と交渉することで、支払ったお金が返金されたり、その後の支払いを止めたりすることができるところがあります。

## 問 消費生活センター〔東庁舎〕

☎71・2360  
FAX72・3788

